

「上小っ子」は本校ホームページでも見ることができます。URL <http://www.city.uenohara.ed.jp/uenoharashou/>

上小っ子

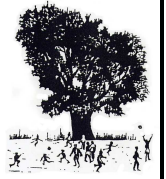
NO.9

上野原市立上野原小学校

発行日：平成28年12月20日

発行者：校長 中込 一雄

TEL：62-3104



冬休みには社会体験を

今年も残すところ僅かとなりました。今年一年、子ども達は学習面でも生活面でもがんばり、健康で安全に仲良く過ごすことができました。これも、保護者や地域・関係者の皆様のご理解やご支援をいただいたお陰と感謝しております。ありがとうございます。

冬休みは短期間ですが、年末・年始を含みますので、子供たちはさまざまなことを体験できます。

- ☆年末・年始における家の仕事を手伝い、様々な体験ができる。
- ☆1年を振り返り、新年に向けて抱負をもてる。
- ☆年末・年始の行事に参加し、日本の伝統・文化などに触れることができる。
- ☆親戚など、たくさんの人に出会うことができ、礼儀、挨拶、言葉遣い、人との関わり方などの社会体験ができる。



このように貴重な体験ができるのが冬休みの特徴です。家族で話し合い、意義ある冬休みとなるよう願っています。また、交通事故、不審者などに気をつけていただき、始業式には元気な子供たちの笑顔に会えることを楽しみにしています。どうぞ皆様、良いお年をお迎えください。

社会教育と子供の成長

社会教育という言葉聞いたことがある方は多いかと思いますが、ではいったい何を指すのかよく分からないという方も多いかと思いますが、「社会科教育」と混同されている方もいるのではないのでしょうか。「社会科教育」は学校教育に於ける社会科という教科学習のことを指します。一方、社会教育は、学校教育を除き、主として青少年および成人に対して行われる意図的・計画的な教育活動のことです。具体的には、公民館活動の一環として行われる文化的活動・体育的活動・レクリエーション活動やゆずりはら青少年自然の里で行われる様々な自然体験活動など、主催団体も様々で内容も多岐にわたります。それだけに、幅広い知識や教養を身につけたり、人格を形成したりする上でも大切な場だと言えます。

北都留地区や上野原市に於いても様々な社会教育の場があります。地域教育「明日の風」では「小林雅英ロッチェマリーンズ一軍投手コーチ野球教室」（12月10日大月市営球場、会場は上野原と大月で交互）や「伊藤知治教士八段剣道教室」（11月20日大月市勤労青少年センター）を開催しました。ゆずりはら青少年自然の里では「さとっ子クラブ」など定期的に自然体験活動が行われています。上野原市中央公民館では「上野原自然探検隊」を組織し、上野原や県内各地をフィールドにした自然体験活動を行っています。また、先日12月3日には本校6年の希望者親子を対象に、北都留社会教育の会主催で「正月飾りづくり」が行われました。この他、社会教育は様々な団体において様々な内容で行われています。

これからも社会教育の場で、学校教育だけでは学べない幅広い知識や教養を身につけ、豊かな人間性が育ってくださることを願っています。



明日の風、野球教室

午前中はグループ毎に分かれ練習したり、小林コーチから指導していただいたりしました。午後は、各チームの代表がピッチング指導をしてもらいました。ゼルコバやYS所属の本校児童も参加しました。



明日の風、剣道教室

開会行事の後、伊藤先生からは剣道の技術的なことはもちろん、礼儀や心構えについても教えていただきました。天心館に所属している上小の児童も一生懸命頑張っていました。

1月の予定

日	曜	主な予定
1	日	元旦
2	月	年始休業日
3	火	年始休業日
4	水	冬季休業日
5	木	冬季休業日
6	金	冬季休業日
7	土	
8	日	
9	月	成人の日
10	火	始業式 給食なし
11	水	給食開始 書き初め 図書返却(~17)
12	木	委員会 全校一斉学力テスト
13	金	短縮4校時 北教研
14	土	
15	日	
16	月	身体測定
17	火	
18	水	スキー教室
19	木	
20	金	学年委員会学校保健委員会P 新年互礼会
21	土	
22	日	
23	月	
24	火	1、6年ドッジボール大会
25	水	2、5年ドッジボール大会 集団下校
26	木	3、4年ドッジボール大会 代表委員
27	金	
28	土	
29	日	
30	月	第4回家庭学習習慣(~2/3)
31	火	市長さんと語る会(児童会役員)

親子で正月飾り作りに挑戦

北都留地区社会教育の会主催で「正月飾りづくり」が行われました。毎年大月と上野原の小学校児童及び保護者を対象に行われていますが、今年を上野原小学校で実施されることになりました。当日は希望した6年生の親子19名が参加し、2名の講師の方から作り方を教えていただきました。藁を縄にする作業に四苦八苦していましたが、エビや松などの飾りをつけると立派な正月飾りになりました。平成29年のお正月は買ったものとはひと味違った自作の正月飾りでお正月を迎えられることでしょうか。



まず、注連縄(しめなわ)を編むことから始めました。



素敵な正月飾りが完成です。飾るのが楽しみですわ。



最後に参加者全員で集合写真を撮りました。

11,12月もいろいろな行事がありました

けやき学級は授業参観で「怪獣のパラード」という劇をしました。観る人全員を感動させる劇でした。



小林さんの授業で消防服と空気ホンを身につけました。予想以上に重かったようです。



火災を想定し防火扉もしめて避難訓練をしました。口にハンカチをあてることを学びました。



ふれあい給食が開かれ、生産者の皆さんと一緒に給食を食べました。



児童会選挙が行われました。立候補者も責任者も自分の思いをしっかりと発表しました。



帝京科学大学の学生が本校の特別支援教育について学ぶため、学校を訪問しました。



キャリア教育とは・・・

～中学生の職業体験と小林さんのお話～

子供たちには、将来、社会的・職業的に自立し、社会の中で自分の役割を果たしながら、自分らしい生き方を実現するための力が求められています。キャリア教育とは、一人一人の社会的・職業的自立に向け、必要な基盤となる能力や態度を育てることです。自ら生きる力を発見していく道しるべになる教育です。

その一環として、教師を志す上中の生徒3名が2日間にわたり教師の仕事に学びに来ました。1日目は緊張した面持ちでしたが、2日目は児童に積極的に関わり、楽しそうに活動していました。また、6年生はPTA顧問の小林さんにゲストティチャーとしてきていただきました。消防署の仕事について話を聞いたり、消防服の重さを体験したりしました。仕事に向き合う姿勢についても話していただきました。

「当たり前のことを、ちゃんとやる」「諦めないうで、チャレンジする」という言葉は児童の心に響いたことと思います。



職場体験では、中学生が学習の補助もしました。低学年児童からは「先生」と呼ばれ、気持ちも引き締まりました。

校長室の窓

先日、平成29年度上野原小学校児童会役員選挙に伴う立ち会い演説会が行われました。まず、感心したことは立候補者や責任者の演説する態度です。どの候補者からも、上野原小学校を良くするために頑張ろうという熱意が伝わってきました。責任者も候補者の素晴らしい面を自分の言葉で素直に伝えていました。また、聞く態度も素晴らしかったです。私の耳には無駄口は一つも聞こえてきませんでした。候補者の言葉にしっかりと耳を傾け、来年度の児童会役員を誰に託すか真剣に考える姿が見られました。とても立派でした。大人の私たちも見習う面がたくさんあるなと思いました。

当選枠は会長1名(新6年)副会長2名(新6年1名、新5年1名)と限られていますが、立候補した9名全員が上小の児童会役員としてふさわしく、立派にその任を果たせると思いました。

つい先日アメリカ大統領選挙があったばかりです。トランプさんが次期大統領に決まりましたが、規模は違うものの、自分たちの代表を選挙で決めるという点でまったく同じです。児童会選挙は「民主主義」について学ぶ良い機会になりました。そして、私は上小の子供たちの素晴らしい面をまた一つ見ることができました。